

平成30年度 推薦入学者選抜検査実施要項

富山県立呉羽高等学校

1 対象学科及び人員

- (1) 普通科音楽コースについて実施する。
第1学年から音楽コースはコース制をとる。
- (2) 合格内定者の人員は18名以内とする。

2 志願資格

県内の中学校またはこれに準ずる学校を平成30年3月までに卒業する見込みの者で、次の条件を満たし、中学校長の推薦を得た者とする。

- (1) 普通科音楽コースを志望する動機が明白であり、目的意識を有すること。
- (2) 普通科音楽コースに関する興味・関心があり、適性を有すること。
- (3) 普通科音楽コースにおける各教科・科目の履修に必要な学力を有し、健康で人物が優れていること。
- (4) 音楽に関する優れた能力または実績があること。

3 提出書類

推薦入学願書、調査書、推薦書、本校所定の様式による受検曲票及び楽譜

4 検査内容等

(1) 実技検査 (個別検査)

受検者は、次のア、イ、ウのいずれかを選択する。

ア 声楽を選択する者

a 自由曲歌唱 (約3分)

- ・ 本校教諭がピアノで伴奏し、受検者は暗譜で歌唱する。また、移調を認める。
- ・ 曲名等については、受検曲票に記入し、出願時に楽譜とともに提出する。

b 新曲視唱 (約2分)

- ・ 8小節程度の簡単な新曲を視唱する。

イ 器楽 (ピアノ) を選択する者

a 選択曲演奏 (約3分)

- ・ 下記の1, 2, 3, 4の選択曲群より任意の1曲を、繰り返しなしで暗譜で演奏する。

1. ハイドン (Haydn.F.J) ソナタより第1楽章 (ただし Hob.XVI:35 は除く)
2. モーツァルト (Mozart.W.A) ソナタより第1楽章 (ただし下記の3曲を除く)
K.282 変ホ長調、K.331 イ長調、K.545 ハ長調
3. ベートーヴェン (Beethoven.L.V) ソナタより Op.2 No.1 から Op.90 までの第1楽章 (ただし下記の6曲を除く)
Op.13 ハ短調、Op.26 変イ長調、Op.27 No.1 変ホ長調
Op.27 No.2 嬰ハ短調、Op.49 No.1 ト短調、Op.49 No.2 ト長調

4. シューベルト (Schubert.F.P)、ショパン (Chopin.F)、リスト (Liszt.F)、
シューマン (Schumann.R.A)、ブラームス (Brahms.J) のピアノ作品

- ・ 曲名等については、受検曲票に記入し、出願時に提出する。楽譜の提出は不要。

b 歌唱 (約2分)

- ・ 中学校の音楽の教科書に記載されている程度の歌唱曲を歌唱する。本校教諭がピアノで伴奏する。暗譜の必要はない。また、移調を認める。
- ・ 曲名等を受検曲票に記入し、出願時に楽譜とともに提出する。

ウ 器楽 (ピアノ以外) を選択する者

a 自由曲演奏 (約3分)

- ・ 繰り返しなしで、無伴奏、暗譜で演奏する。
- ・ 曲名等については、受検曲票に記入し、出願時に楽譜とともに提出する。

b 歌唱 (約2分)

- ・ イのbに準ずる。

(2) 面接 (個人面接)

5 検査の期日 平成30年 2月 13日 (火)

6 検査日の日程 (予定)

受付	8:40～ 8:50
諸連絡	9:00～ 9:10
実技検査	9:25～12:00
面接	9:45～12:20

7 受検曲票及び楽譜等について

- ・ 受検曲票は記入上の注意及び記入例を参照し、必要事項を漏れなく記入する。
- ・ 提出楽譜は整理の都合上、その大きさは **B4版 (見開き2頁)** とし、1曲が複数枚になる場合は下方中央に頁番号を記入する。また、**すべての楽譜の右上余白に中学校名と受検者名を記入する**。台紙は不要。(検査当日、受検者が実技試験 (歌唱) で楽譜を必要とする場合は持参すること。)
- ・ 手書きの移調楽譜の場合は、黒または青インクで正確に書き、伴奏部に添えて声部と歌詞とを記入する。
- ・ 伴奏楽譜は簡易伴奏譜ではなく、歌唱声部と大譜表ピアノ譜があるものとする。
- ・ 伴奏に、テンポ、ブレス等特別な要望がある場合は、提出楽譜にその旨を明記する。
- ・ 実技検査用楽器のうち、ピアノ、ハープ、コントラバス、マリンバ、スネアドラムは本校で準備できる。
- ・ 提出楽譜について

選 択 分 野		自由 (選択) 曲	歌唱曲
器 楽	声 楽	○	
	ピ ア ノ	×	○
	ピ ア ノ 以 外	○	○

○は必要、×は不要